

人文科学研究所研究叢書

21.『民国前期中国と東アジアの変動』

1999年3月30日発行

中央大学人文科学研究所 編 中央大学出版部発行

本体価格6,600円（税別）

ISBN 4-8057-4204-6

まえがき	
序論 民国前期中国と東アジアの変動	斎藤 道彦
第一部 民国前期中国の国際関係	
第一章 北京政府とシベリア出兵 —第一次大戦とロシア革命がもたらした東アジア世界の変動—	笠原 十九司
第二章 北京政府の対非列強外交 —アジア・中南米・東欧との外交関係—	川島 真
第三章 第一次世界大戦と国際協調体制下における日中関係	劉 小林
第四章 1920年代前半期ソ連・コミンテルンの対中国政策	王 永祥
第五章 中国人のソ連留学とその遺産 —モスクワ孫文大学（1925-30年）を中心に—	土田 哲夫
第二部 民国前期中国の政治	
第一章 中国近代と大中華主義 —清末から中華民国へ	斎藤 道彦
第二章 民国国会と北京政変	味岡 徹
第三章 農商総長張謇の開放主義	苑 書義
第四章 広東軍政府論 —民国前期における「中央政府」—	深町 英夫
第五章 中華民国軍事史研究序説	姫田 光義
第三部 民国前期中国の文化と社会	
第一章 近代の中日文化交流	林 明德
第二章 李允宰の中国経験 —1920年代韓国における一つの指南として—	関 斗基
第三章 上海「在華紡」争議と五・三〇運動 —顧正紅事件をめぐる—	高綱 博文
第四章 『女青年報』・『女青年』解題 —中国YWCAの機関誌が語る民国前期—	末次 玲子
あとがき	
索引	